

令和 7 年度北陸信越工学教育協会福井県支部研究集会の報告

福井大学 学術研究院工学系部門 物理工学講座
小川 泉

1. はじめに

令和 7 年度の北陸信越工学教育協会福井県支部研究集会を令和 7 年 12 月 19 日（金）にオンラインで開催した。北陸信越工学教育協会福井県支部には、福井工業高等専門学校、福井工業大学、福井大学があり、それぞれ学生主体の活動を通じた創成教育を進めている。それぞれの活動を紹介し、情報交換・交流する場として本研究集会を企画した。

この企画は、学生主体の活動紹介の場を作ってみようということを福井工業高等専門学校と福井工業大学と相談して令和 4 年度から実施しており、今年度はその 4 回目になる。

実際に活動している学生に発表してもらえば、お互いの活動の様子を知り、それが新しいアイデアや、学生間や教員間の交流が生まれるきっかけになるのではないかと趣旨である。

2. 実施概要

図に本研究集会のポスターを示す。冒頭の開会挨拶が北陸信越工学教育協会福井県支部長／福井大学工学部長の永井二郎氏からあり、その後、筆者から趣旨を説明した。続いて各校の学生グループからの発表が行われた。昨年度は各校ごとにブロックでまとめて発表をしてもらっていたが、今年度は各校で交互に発表してもらう形に変更した。以下は報告の都合上、各校ごとにまとめている。

福井工業高等専門学校からは、専攻科の「創造デザイン演習（前期）」の内容について、2 件の発表（「自走する恐竜型ゴミ箱～福井の魅力をゴミ箱から～」、「デザコン 2 0 2 5 ～可変型ワイヤレスイヤホン「Bloom」」）があった。

福井工業大学からは、「消臭めがね開発プロジェクト」および「放射線の見える化研究」の研究紹介と、「エネルギー研究会」の発足とその活動内容についての報告があった。

福井大学からは、学生グループ「物理博物館」で取り組んでいる活動（磁性流体についての研究他）についての報告と、学際実験・実習で取り組んでいる学生チームのロボットづくりや子供向けに 3D プリンタで造形した化石の発掘体験を提供するグループの報告があった。なお、ロボットづくりと化石発掘体験のチームは、本会福井県支部からの部門別研究助成費で福井大学が行なっている学生活動支援から助成を受けた活動である。

これらの学生グループの取り組み内容は、それぞれのアイデアをうまく実現させることや、独自の活動の紹介、目標に向かって努力している様子など、興味深いものであった。プレゼンテーションについても、役割を決めてよく準備されて、わかりやすいものであった。

最後に参加者全員で意見交換を行った後、北陸信越工学教育協会福井県支部評議員／福井工業大学工学部原子力技術応用工学科の砂川武義氏よりの閉会挨拶を以って、本研究集会を終了した。

<p>北陸信越工学教育協会福井県支部</p>	<p>令和 7 年度 北陸信越工学教育協会 福井県支部研究集会</p>
<p><テーマ> 学生主体の 活動を通じた 創成教育の紹介</p>	
	<p><開催日時> 令和 7 年 12 月 19 日（金） 12:45～</p> <p><開催方法> オンライン（zoom）</p>
<p>（発表者） 福井工業高等専門学校 福井工業大学 福井大学</p> <p>（主 催） 北陸信越工学教育協会福井県支部</p>	

図 年次研究集会のポスター

< プログラム >

- 12:45～13:05** 開会の挨拶 永井二郎(北陸信越工学教育協会福井県支部長／福井大学工学部長)
- 13:05～13:10** 開催の趣旨説明 小川泉(事業企画委員／福井大学工学系部門物理工学講座)
- 13:10～13:25** 「知能ロボコンプロジェクト」 村田寛至, 安田伊吹, 一二岳登, 百瀬大翔(福井大学工学部機械・システム工学科)
- 13:25～13:40** 「自走する恐竜型ゴミ箱～福井の魅力をゴミ箱から～」 小川賢仁, 高間海友, 田中健太郎, 山口准星(福井工業高等専門学校)
- 13:40～13:55** 「消臭めがね開発プロジェクト」 坂東佳澄(福井工業大学工学部原子力技術応用工学科)
- 13:55～14:10** 「3D プリンタで造形した化石の発掘体験」 田中将斗(福井大学工学部機械・システム工学科)
- 14:10～14:25** (休憩)
- 14:25～14:40** 「デザコン2025～可変型ワイヤレスイヤホン「Bloom」」 品川涼, 増田光佑(福井工業高等専門学校)
- 14:40～14:55** 「エネルギー研究会発足」 佐藤駿多(福井工業大学原子力技術応用工学科)
- 14:55～15:10** 「磁性流体に関する研究報告」 横堀亜季, 森脇玄一郎(福井大学工学部応用物理学科)
- 15:10～15:25** 「放射線の見える化研究」 山形優希(福井工業大学工学部原子力技術応用工学科)
- 15:25～15:40** 意見交換(全体を通じた質問, 意見, 討論など)
- 15:40～15:50** 閉会の挨拶 砂川武義(北陸信越工学教育協会福井県支部評議員／福井工業大学工学部原子力技術応用工学科)

3. おわりに

今回も昨年同様にオンラインでの開催であったが、参加者から多くの質問があり、有意義な場であったと感じている。これがきっかけになって、福井県の高専と大学の学生間や教員間においても、工学教育に関連する交流が深まることも期待している。さらに活発な交流ができるように、高専・大学のそれぞれのスケジュールが合うタイミングがあれば、ぜひ対面での開催を試みたいと思っているところである。

最後になりましたが、皆様のご協力により、有意義

な発表会となりました。発表していただいた多くの学生の皆様、実施にあたり準備等いただいた皆様、ご参加いただき、質問やコメントをいただいた皆様に感謝申し上げます。